

基本施策評価シート

基本施策最終評価

B

基本施策通し番号 8

基本施策 子どもと子育て家庭への支援

構成施策

施策番号	施策名	施策最終評価
施策1	子育て支援サービスの充実	A
施策2	保育サービスの充実	A
施策3	子どもの良好な生活環境の確保	A
施策4	婚活に関する支援	B

成果指標

指 標	内 容	平成32年度 目標	平成29年度末 実績	単 位	平成29年度の成果の検証
地域子育て支援センターの利用者数	子育て支援センター登録児童数	430	446	人	子育て支援や保護者の交流の場として、また子育て相談や子育て支援情報の提供の場として、子育て世帯の孤立化の防止につながっている。
婚活セミナー参加者数	婚活セミナーに参加した独身者の年間延べ人数	250	29	人	婚活イベント前の婚活セミナーの実施により、婚活イベント参加者のコミュニケーション力の向上につながっている。

後期基本計画策定時の「現状」と「課題」

現 状	・少子化の急速な進展や核家族化の進行、地域のつながりの希薄化など子ども・子育てを取り巻く環境が変化している。 ・晩婚化が進むとともに、生涯未婚率も上昇してきている。
課 題	・地域社会全体で子育てを応援し、人と人のつながりを大切にする「結の心」で支え合いながら子育てができるまちづくりの実現 ・婚活への支援

社会情勢・市民ニーズの変化

- ・2016年社会生活基礎調査において、福井県の女性有業率は日本一であり、今後も保育所や認定こども園の果たす役割は大きい。
- ・国は、少子化対策・子育て支援として、多子世帯や低所得世帯、ひとり親世帯に対する保育料の軽減など、幼児教育の無償化を段階的に進めている。
- ・就学前児童数が減少する一方で、低年齢児の保育所入所希望や子育て支援センターの登録者数が増加している。
- ・施設設備の老朽化、低年齢児の増加、認定こども園への移行などにより、民間保育所の施設整備が進んでいる。
(H29年度:1園新築、1園改築、H30年度:1園改築、1園改修予定)
- ・平成30年度より、新たに1園が保育所から認定こども園に移行し、認定こども園1園が新設された。(現在、認定こども園は市内に4園。)

現在の「現状」と「課題」

現 状	・保育所入園児の低年齢化が進んでいる。 ・晩婚化・生涯未婚率の上昇傾向に変化はない。 ・平成27年まで220人前後で推移していた年間出生数が、平成28年、29年の出生数は、いずれも195人と減少している。
課 題	・保育所設置基準は満たしているが、定員超過の保育所があるため、民間保育所と連携し、利用調整や利用定員の見直しを図る必要がある。 ・婚活イベントへの参加者が集まらない、イベントでカップルは成立するが、成婚には結びついていない等の状況があるため、結婚支援に対するニーズ等の把握、事業手法の見直しが必要である。

基本施策の「成果」

成 果	・各種子育て支援サービスについては、保護者の要請に対応できている。 ・保育所の改修・改築を支援し、良好な保育環境の整備を促進した。 ・2回の結婚支援イベントにおいてカップルが11組成立した。
-----	---

改善点

- ・子育て世代包括支援センターで子育て支援情報誌を作成し、子育て世帯への情報提供に努める。また、支援を必要とする妊産婦等の台帳を整備し、きめ細かい支援プランを作成する。
- ・保育園については、定員超過にならないよう適宜利用調整を行う。
- ・結婚や結婚支援に対する意識調査の実施により、対象者のニーズを把握し、効果的な結婚支援事業について検討する。